



血液がん 2023年12月版

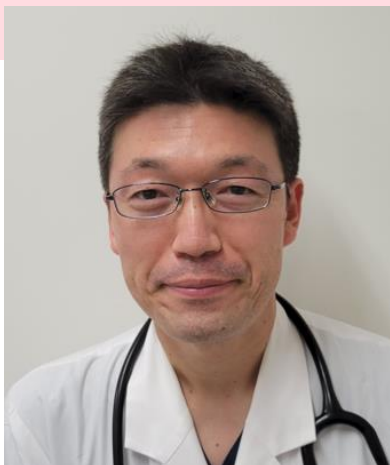
Oncologist Fact Report

血液がん患者の治療・情報収集レポート

患者編

株式会社メディカルトリビューン

Hematologic malignancy '23



都立駒込病院 血液内科 医長 名島悠峰 先生

血液がんの罹患数が高齢化と共に増加の一途を辿るなか¹⁾、わが国ではますます多くの患者さんが血液がんに対する医療の提供を必要としています。一方、医学の進歩による予後の延長を背景に、今日では治療の成果だけでなく「いかにがんと共に生きるか」も患者さんにとって重要なテーマとなる時代が訪れています。自身の疾患と上手に付き合っていくため、患者さん自身が最新の治療や副作用の管理などについて良質な情報を求めています。

本レポートは、血液がん薬物療法の経験がある患者さんを対象に、通院／転院の状況、薬物療法の状況、就労の状況、治療・薬剤に関する情報収集、デジタルヘルスの利用状況を調査しその結果をまとめたものです。患者調査と医師調査に共通の質問を設定する試みにより患者と医師の両者間の意識の比較分析が行われた点が本レポートの特長だと思います。医師からの治療方針の説明や選択肢の提示に対する両者の認識の差の実態や、医師とのコミュニケーションに対する満足度を左右するいくつかの要素を明らかにした調査結果は、医師が自らを省みるきっかけにもなると思います。また、患者さんが薬物療法において重視することや、副作用に悩まされたときの意識についても詳細な調査が行われており、企業を含め患者さんを支える立場にあるすべての関係者に対し多くの示唆が与えられると感じています。

がん診療を受ける上では患者さん自身での情報収集が欠かせないとされる昨今、すでにさまざまな企業が多彩なツールやアプリなどの提供により支援の努力を重ねていますが、本調査結果では患者さんへの活用広がりにおいて課題が残されていることも示されています。患者さんが真に満足できる医療の提供は、医療従事者と企業がそれぞれの役割を果たしながら協力することによって実現します。企業の皆さんが本レポートを一助として、患者さんに寄り添う医療にますます貢献されることを願っています。

1) 国立研究開発法人国立がん研究センターホームページ. がん種別統計情報

目次

| | | |
|---|----------------------|--------------------|
| 1 | 調査概要 | |
| | ● 回答者属性 | 5 |
| 2 | サマリー | 9 |
| 3 | 調査結果詳細 | |
| | ● 第1部：血液がん患者の実態 | |
| | - 3-1：通院／転院の状況 | 12 |
| | - 3-2：主治医とのコミュニケーション | 21 |
| | - 3-3：薬物療法の状況 | 27 |
| | - 3-4：就労の状況 | 37 |
| | ● 第2部：血液がん患者の情報収集 | |
| | - 3-5：治療・薬剤に関する情報収集 | 41 |
| | - 3-6：デジタルヘルスの利用状況 | 47 |

調査概要

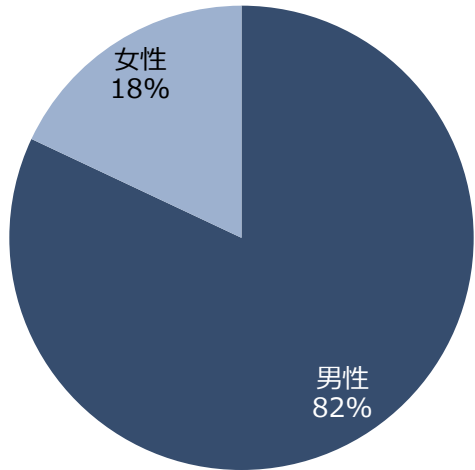
| | | | |
|---------|----------------------------------|------|---|
| 調査対象者条件 | 1. 血液がん薬物療法の経験がある患者 2. 18歳代以上 | | |
| 標本抽出 | 一般消費者パネルからのランダム抽出 | 調査手法 | WEBアンケート調査 |
| サンプル数 | 100ss | 調査時期 | 2023年10月13日～19日 前回調査：2022年10月24日～11月2日 |

全体

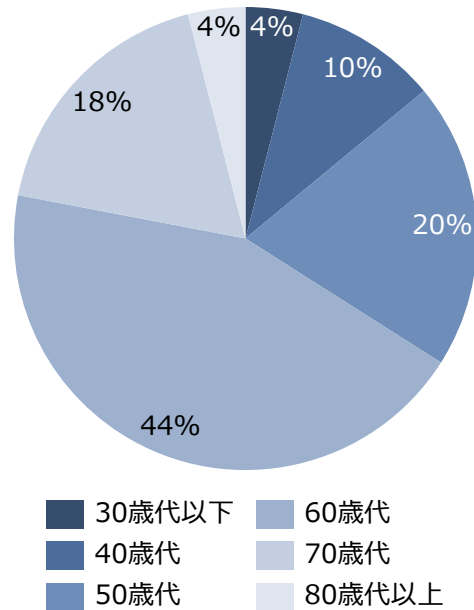
- ✓ 男性が82%で、年齢層は50~70歳代が82%を占めた
- ✓ 配偶者・パートナーと同居している割合は74%だった一方で、独居は10%だった

(n=100)

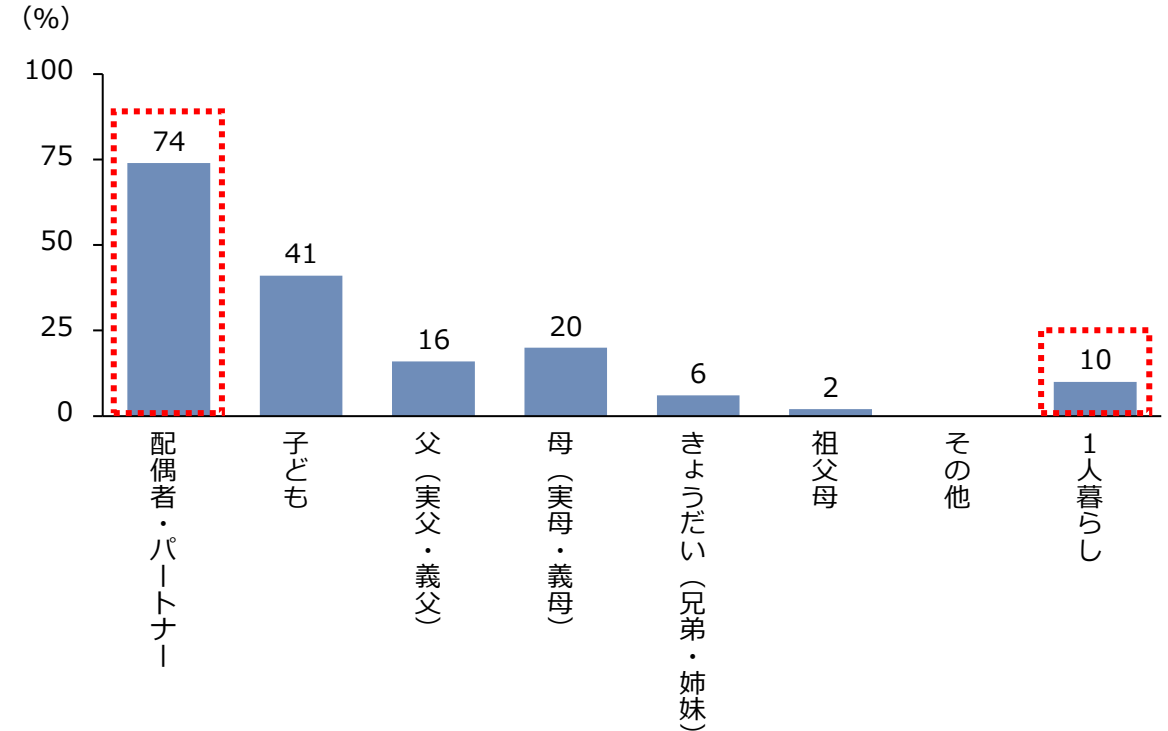
性別



年齢



同居家族

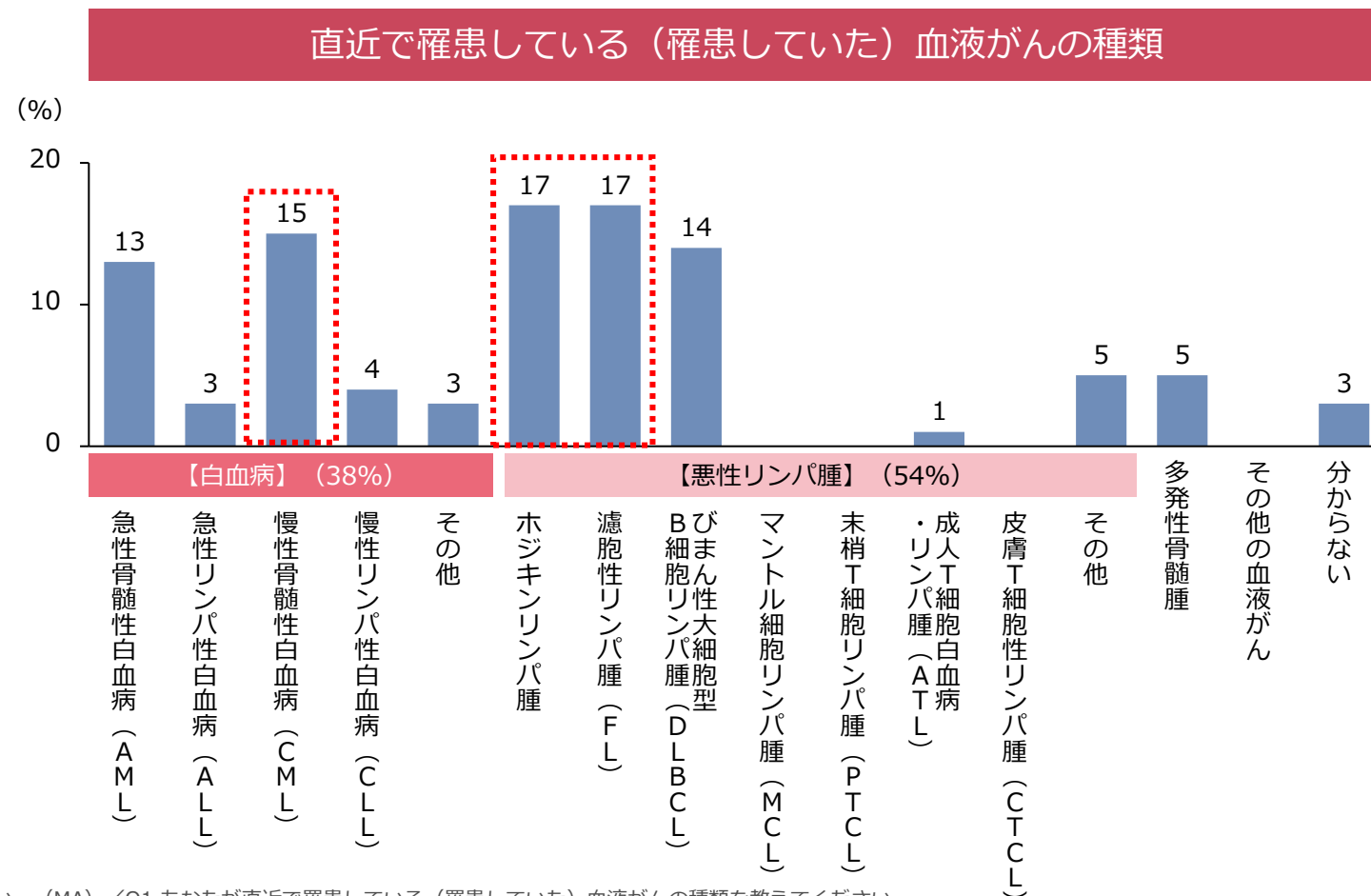
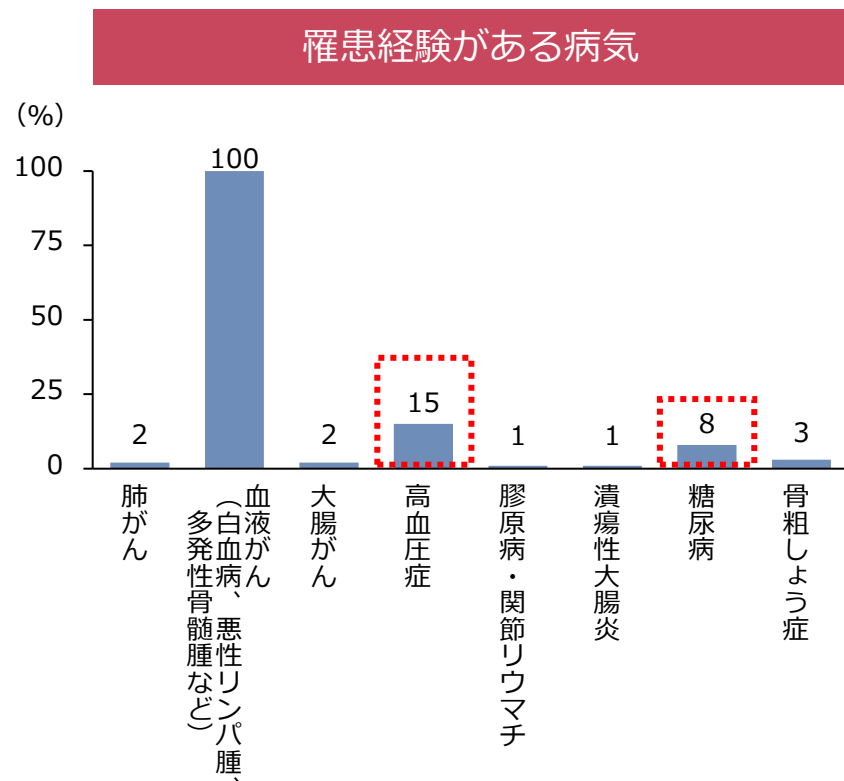


SQ1.あなたの性別を教えてください。/SQ2.あなたのご年齢(世代)を教えてください。/Q21.血液がんを治療している(していた)時の同居家族を全て選択してください。(MA)

全体

- ✓ 既往歴は高血圧症が15%と最も多く、次いで糖尿病の8%だった
- ✓ 血液がんの種類としては白血病が38%、悪性リンパ腫が54%、多発性骨髄腫が5%だった
- ✓ 白血病ではCMLが最も多く、悪性リンパ腫ではホジキンリンパ腫とFLが最も多かった

(n=100)



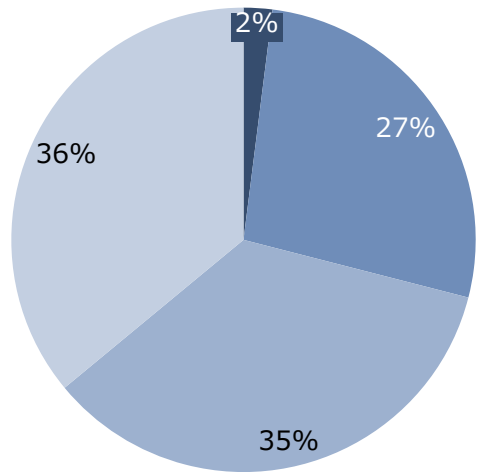
SQ3.あなたが罹患している（罹患していた）病気について、当てはまるものを全て選択してください。（MA） / Q1.あなたが直近で罹患している（罹患していた）血液がんの種類を教えてください。

全体

- ✓ 最初の診断からの経過年数は5年未満が29%、10年未満が64%だった
- ✓ 全体と比べると、白血病患者は分子標的薬による治療が多く、悪性リンパ腫患者は抗がん薬による治療がやや多かった

最初の診断からの経過年数

(n=100)



- 1年未満
- 1～5年未満
- 5～10年未満
- 10年以上
- 覚えていない

これまでに受けた治療

| | n | 造血幹細胞移植 | 放射線療法 | 抗がん薬による治療 | 分子標的薬による治療 | 免疫チエックポイント阻害薬 | 免疫調節薬 | ステロイド薬 | CAR-T細胞療法 | 具体的な薬剤の種類はわからないが薬物療法を受けた |
|--------|-----|---------|-------|-----------|------------|---------------|-------|--------|-----------|--------------------------|
| 全体 | 100 | 20% | 15% | 71% | 36% | 2% | 6% | 17% | 2% | 6% |
| 白血病 | 38 | 24% | 13% | 55% | 47% | 5% | 3% | 24% | 3% | 5% |
| 悪性リンパ腫 | 54 | 15% | 17% | 78% | 31% | 0% | 4% | 11% | 2% | 6% |
| 多発性骨髄腫 | 5 | 60% | 0% | 100% | 20% | 0% | 60% | 40% | 0% | 20% |
| その他・不明 | 3 | 0% | 33% | 100% | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% |

※表側ごとに、Top3に色付け

SQ4.血液がんと最初に診断されてからの経過期間を教えてください。/SQ5.これまで受けた血液がんの治療で、当てはまるものを全て教えてください。(MA)



Oncologist Fact Report

2023年12月版

医療者とともに

MT MEDICAL
TRIBUNE

CONFIDENTIAL

本資料は、貴社社内関係者のみによって使用されるものとし、本資料のいかなる部分についても、株式会社メディカルトリビューンの事前の書面による承諾を得ずに、回覧・引用・複製、あるいは貴社外部に配布してはならないものとします。